

高温・台風対策編

向こう1ヶ月は高温となる確率が80%、台風にも注意を

- 8月24日発表の1ヶ月予報(8月26日～9月25日)によると、**気温が平年より高い確率は80%**となっています。また直近の2週間予報(下図)によると9月2日までは35℃以上の猛暑日が続く、9月4日以降も気温は平年よりかなり高くなる予報となっています。**出穂以降、高温が続くと胴割粒や白未熟粒の発生による品質低下が懸念**されます。
- 8月に入って発生する台風が多くなっています。28日には台風11号が発生、現在太平洋上に3つの台風が発生しています。特に**8月と9月は月に5つ以上の台風が発生**するといわれており、この時期は海水温が高いため強い勢力を保ったまま上陸する危険があります。

日付	過去の実況								1週目の予報（日別）						2週目の予報（5日間平均）					かなり高い 高い 平年並 低い かなり低い
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
															(2~6日)	(3~7日)	(4~8日)	(5~9日)	(6~10日)	
甲府 (最高気温)	36.2	34.5	33.8	32.5	35.4	36.2	34.2	当日	36	35	35	35	35	31	32	32	33	33	33	
甲府 (最低気温)	26.0	24.5	25.9	25.0	24.1	24.3	23.6	当日	24	23	23	22	22	23	24	24	24	24	23	

かなり高い
高い
平年並
低い
かなり低い

連日の高温で胴割・白未熟粒発生の恐れ、水管理徹底を

- 出穂後の高温下では、きめ細やかな水管理を行ってください。特に今年は、降雨が少なく高温であるため、出穂後30日より前に早期落水しないでください。
 - ① **出穂から30日後までは落水せず、間断かん水(2日湛水、2日落水)または飽水管理**として、気温の低い朝夕の用水交換で水温・地温を低下させてください。
 - ② **出穂30日以降も高温で経過する場合は、完全落水せずに収穫の5日程度前までは走水程度の飽水管理**とし、健全な登熟を促しましょう。
- 台風による強風雨やフェーン現象の恐れがある場合は、次のような対応を取ってください。
 - ① **強風が吹く前に湛水管理に切り替え、強風が去った後は速やかに間断かん水または飽水管理に戻してください。**
 - ② 事前に排水路の点検、補修、ごみを除去しておき、水口と排水路をふさぎ、水の流入を防ぎましょう。
 - ③ **収穫が近い場合**は、倒伏や穂発芽を防ぐため、**やや早くても収穫**してください。(収穫時期の5～7日前の収穫は、収量・品質への影響はほとんどありません)

NOSAI山梨 山梨県農業共済組合 <https://www.nosai-yamanashi.or.jp>

■中央支所 TEL:0553-22-5056
 ■南アルプス支所 TEL:055-282-0443
 ■本所 TEL:055-228-4711

■北部支所 TEL:0551-23-1111
 ■富士支所 TEL:0554-45-6611